

## 「第32期はなやまボランティアスクール」開催要項

### 1 趣 旨

ボランティア活動に必要な理論と技術についての実践的な研修を行うとともに、体験活動の指導者や支援者としての技術を高め、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。

### 2 目 標

- 青少年教育施設におけるボランティアの役割とボランティア活動について理解する。
- 自然体験活動の指導方法や救急救命法と安全管理などボランティアとしてすぐに生かせる知識や技術を習得する。
- 参加者や先輩ボランティアとのふれあいを通して、ボランティアとしての意欲を高め、研修修了後ボランティアとして活動する。

3 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

4 期 日 平成23年6月24日（金）～6月26日（日）2泊3日

5 場 所 国立花山青少年自然の家及び施設周辺フィールド

6 対 象 者 18歳以上のボランティア活動を志す方（一般成人・学生）30名

7 参加者経費 4,000円  
【内訳】食費3,200円（朝2回、昼2回、夕1回、携行食・交流会も含む）、  
傷害保険代300円、シーツ等洗濯費用200円、資料代等300円


8 持 ち 物 参加費・野外活動に適した服装（寒さ汚れに応じることのできる服装）・運動靴  
着替え・上履き・筆記用具・洗面用具・タオル大小・雨具・軍手・リュックサック  
水筒・健康保険証（写しでも可）等

### 9 講 師

- ◆ 「青少年教育の理解」  
「子どもの自然体験活動の教育的意義」「学校の自然体験学習におけるボランティアの役割」  
講師：NPO法人野外遊び喜び総合研究所 中嶋 信 氏
- ◆ 「救命救急法」 講師：消防署職員
- ◆ 「青少年教育施設の現状と運営」  
講師：国立花山青少年自然の家職員
- ◆ 「HABプログラム体験」  
講師：国立花山青少年自然の家職員



## 10 日程(予定)

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
6/24 (金)									バス 送迎 ・ 受付	開 講 式	〈講義Ⅰ〉 青少年教育 の理解	入 浴 ・ 自 由	就 寝	
6/25 (土)		〈講義Ⅱ〉 自然体験活動の 教育的意義 〈講義Ⅲ〉 学校自然体験学 習におけるボラ ンティアの役割		[実習Ⅰ] HAB プログラム① 野外活動エリアを知ろう 最新オリエンテーリング ※昼食を含む					[実習Ⅱ] HAB プログラム② 環境に配慮した 野外炊飯 & エコ・キャンプ ファイヤー体験		先輩ボランティ アとの交流会	入 浴 ・ 自 由	就 寝	
6/26 (日)	整 理 ・ 清 掃	[実習Ⅲ] 救命救急法		昼 食	〈講義Ⅳ〉 青少年教育 施設の現状 と運営				閉 講 式					

## 11 交通案内

JR仙台駅前と地下鉄泉中央駅と東北新幹線くりこま高原駅から、国立花山青少年自然の家までの送迎を行います。(申込み後にお送りする事前確認書に希望をご記入ください。)

【迎え】6/24(金) JR仙台駅前・地下鉄泉中央駅発 16:30  
新幹線くりこま高原駅発 17:30  
(新幹線 上り 17:15着、下り 17:04着)

【送り】6/26(日) JR仙台駅前・地下鉄泉中央駅着 17:30  
新幹線くりこま高原駅着 16:50  
(新幹線 上り 17:16発、下り 17:05発)

## 12 その他

○所定の内容を履修された方には修了書を交付するとともに、国立青少年教育振興機構本部に登録し、国立花山青少年自然の家をはじめとする国立青少年自然の家等でのボランティア活動が可能です。

○送迎についての交通案内は別紙参加申込書をご参照ください。

○本事業で撮影した写真などを広報等で使用させていただくことがあります。また、参加申込書にご記入いただいた内容につきましては、本事業のために使用し、他の目的で用いることはありません。

## 13 参加申込み

同封の参加申込書に必要事項を記入の上、FAX、郵送、メールにてお申し込みください(6月17日〆切)。お申し込みいただき次第、詳しいご案内をお届けいたします。



〒987-2593 宮城県栗原市花山字本沢沼山 61-1  
tel: 0228-56-2311/ fax: 0228-56-2469  
E-mail: hanayama@niye.go.jp <http://hanayama.niye.go.jp/>  
本事業担当 企画指導専門職 佐藤・松川